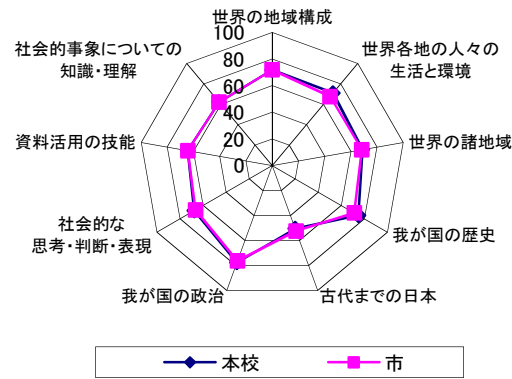


宇都宮市立陽南中学校 第1学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	世界の地域構成	71.8	71.9
	世界各地の人々の生活と環境	71.1	67.7
	世界の諸地域	68.8	68.4
	我が国の歴史	74.8	71.2
	古代までの日本	50.4	52.3
	我が国の政治	77.5	76.3
観点別	社会的な思考・判断・表現	67.7	66.5
	資料活用の技能	64.4	64.3
	社会的現象についての知識・理解	62.1	62.1



★指導の工夫と改善

領域		本年度の状況	今後の指導の重点
地理	世界の地域構成	市の平均に比べ、0. 1ポイント下回っている。海洋・大陸の分布、緯度・経度の読み取りなど、地図資料を活用した技能の定着が不十分な生徒も見受けられる。	グラフ(円・棒等)や地図(分布図等)などの資料の読み取りに際しては、読み取りのポイントを必ず明示して、資料の示す特色(変化や分布など)を十分におさえる指導に留意し、資料活用能力を育成させたい。また、世界及び日本の地域の特徴を理解させるに当たり、地図を十分に活用させて把握させたい。あわせて、諸地域の学習を通して複数の地域に関わる関係性についても理解を深めるよう心がけさせたい。知識をさらに確実に身につけさせるよう毎時間、復習確認テストも実施したい。
	世界各地の人々の生活と環境	市の平均に比べ、3. 4ポイント上回っている。世界各地の自然条件や人々の生活(住居等)についての理解は概ね良好である。	
	世界の諸地域	市の平均に比べ、0. 4ポイント上回っている。アジア州の気候、人口、貿易、歴史について、資料を通しての理解が不十分な生徒も見受けられる。	
歴史	我が国の歴史	市の平均に比べ、3. 6ポイント上回っている。多数の生徒が、年表等の諸資料を読み取って、正答を導き出すことができている。昭和時代の日本の歴史についての理解は概ね良好である。	日本や世界の歴史に関して、年表を十分に活用させ、歴史的事象を大局的に整理させていく取り組みを今後も重視したい。時代の特徴をおさえた上で、事象どうしの因果関係についての理解の定着も図らせたい。また、特定の歴史的事象を理解する上で、必要不可欠な資料については、提示をする際に内容について発問をし、資料活用能力を育成させていきたい。あわせて、歴史的事象の背景について、様々な資料を読み取って考える能力も身につけさせたい。
	古代までの日本	市の平均に比べ、1. 9ポイント下回っている。飛鳥・奈良・平安時代までの古代期に関する歴史的事象についての理解が不十分な点が見受けられる。	
公民	我が国の政治	市の平均に比べ、1. 2ポイント上回っている。日本国憲法や基本的人権、国民の権利・義務について、若干、理解が不十分な生徒もいる。	政治に関わる基本的な用語について、生徒自身の生活との具体的な関わりを例示して、理解を深めさせたい。そのためには、生活に密着した多様な資料を提示したり、あるいは適切に資料を選択して、多角的に分析していくような学習の工夫を試みたい。